

ジャパンラグビー リーグワン開幕記念企画

静岡ブルーレヴズ始動

前例のない挑戦の始まり



日本ラグビー界の新リーグ、「NTT ジャパンラグビー リーグワン 2022」がいよいよ始まりました。

2021年までのトップリーグを刷新し、各チームが本拠地「ホストエリア」を設定する、地域に密着した新しいリーグです。

ヤマハ発動機ジュビロは、ホストエリアを「静岡県全域」とした新チーム「静岡ブルーレヴズ」に生まれ変わりました。

企業から独立した日本ラグビー界初のチーム「静岡ブルーレヴズ」。前例のない挑戦がここから始まります。

ヤマハ発動機ジュビロから何が変わったの？ 磐田市民に知ってほしい 静岡ブルーレヴズ

5つのコト



01 ホストエリアは「静岡県」

リーグワンでは、各チームがホストエリアを設定しますが、静岡ブルーレヴズは磐田市を含む「静岡県全域」をホストエリアとしています。磐田市とは昨年12月にパートナー協定を結び、これまでどおり磐田市民にとって身近なチームとなっています。



02 新会社を磐田に設立

2021年6月に、静岡ブルーレヴズ(株)がヤマハ発動機(株)の子会社として設立されました。ラグビーチームが独立した会社となるのは、日本ラグビー界で初めてのことです。また新会社の所在地やオフィスは、磐田市内が所在地です。

03 選手はヤマハ発動機(株)の社員も

ヤマハ発動機ジュビロから引き続き所属する社員選手は、今も仕事とラグビーを両立しています。職場や地域の仲間として応援する形は、チームが変わっても変わりません。



04 練習はいつもの「大久保グラウンド」

主な練習場所はヤマハ発動機ジュビロのときと変わらず「大久保グラウンド」です。見学もできて、迫力あるプレーを間近で見ることができるおすすめスポットです。

05 試合観戦は地元「ヤマハスタジアム」

「ヤマハスタジアム」は静岡ブルーレヴズのホストスタジアムの一つです。市内で試合観戦できる環境は変わらないので、スタジアムまでぜひ応援にいきましょう。



静岡ブルーレヴズ チームプロフィール

静岡から世界を魅了するクラブへ——

ホストエリア
静岡県

ファンの愛称
レヴニスタ

チームカラー
BLUE

磐田市民へメッセージ

ホストスタジアム

ヤマハスタジアム
エコパスタジアム
IAIスタジアム日本平

マスコット



レヴズ

キャプテン
おおどゆうや
大戸裕矢選手



クラブスローガン

All for Shizuoka
全ては静岡のために

エンブレム



ロゴ

SHIZUOKA
BlueRevs

磐田市の皆さま、いつも温かいご声援ありがとうございます。ヤマハ発動機ジュビロから静岡ブルーレヴズに生まれ変わり、1月に開幕した「ジャパンラグビーリーグワン」に参戦いたしました。磐田市の皆さまをはじめ、静岡の人々から愛され、静岡から世界を魅了する日本一のプロフェッショナルラグビークラブをつくっていきたく思います。ヤマハスタイルから進化をした「レヴズスタイル」でリーグワン初代チャンピオンを目指し一戦一戦戦っていきますので、ぜひともヤマハスタジアムで勝利を分かち合いましょう。

ジャパンラグビーリーグワンってどんなリーグ？

リーグは入れ替え戦ありの3部制

DIVISION1 12 チーム

カンファレンス A

カンファレンス B



DIVISION2 7 チーム

DIVISION3 6 チーム



2022シーズンの
静岡ブルーレヴズは
カンファレンスB

ディヴィジョンワン
DIVISION1 (1部リーグ) のチーム数は12チームです。2つのカンファレンスに別れ、6チームによるホスト&ビジターのリーグ戦、異なるカンファレンスとの試合の各チーム計16試合を行います。

前身トップリーグの16チームより減少したことでよりハイレベルの接戦が期待され、下位リーグとの入れ替え戦や上位4チームによるプレーオフトーナメントもあるため、緊張感のあるリーグ戦となっています。

JAPAN RUGBY
LEAGUE

ONE

